

川崎市立 日本民家園

日本民家園だより 30号 平成6年3月31日 編集・発行 川崎市立日本民家園

つくる喜び

— 体験学習 —

「私、六ツ目かご作りに来たんです。それで感じたことは非常にためになり、また、お店にいてそういう『かご』などを見る時の目が変わって来ました」とは多摩区の女性。

また、同じく「しめ縄」作りに参加した中原区の女性は「自分で作ったものを飾って見たいと思っていたんです。良いお正月が迎えられますと思います」と語っていました。

近年、体験学習という言葉をよく聞かれると思います。私たちは大変便利な社会で生活しているため、お金を払えば大部分の物が手に入ります。そこには、人間本来持っている「創造」への喜びが失われつつあるのではないかと思います。



小正月のだんごやみかんの花が



しめ縄作り風景

日本民家園では、アシナカ草履やわらじ作りそれに草木染めとはた織り等、日本の伝統文化を体験を通して知る機会を行事として催し、多くの方々のご賛同を得ております。

昔の人が永い歳月をかけ、考え出した知恵を学ぶことは、現代に生きる私たちにとって有意義なことと思います。

日本民家園の行事については、市政だよりの施設の催し情報欄に掲載されております。

平成6年度の行事予定につきましては、4～5ページをご覧ください。

日本民家園の主な鼓動

—平成5年度の総まとめ—

平成5年度においては、より市民のニーズに応えるため、伝統文化と現在の私たちとの架け橋となるよう博物館活動を積極的に展開して来ました。以下は記録です。

〈体験学習〉

5月2日の「アシナカ草履作り」に始まり、「小正月のマユ団子作り」まで、計22回にわたり実施し、延べ566人の方々が参加されました。



〈年中行事展示〉

旧北村家を中心に旧原家、旧清宮家、旧山田家において季節展示を実施しました。5月

糸つむぎ風景

の節供人形、鯉のぼり、武者のぼりをはじめ、今年の3月の雛節供人形飾りまで、特にボランティアの皆様のご協力をいただき、見学者に親しんでいただきました。

〈日本民家園協議会の開催〉

日本民家園協議会は園の円滑な運営を図るため、学識経験者等の委員10人で構成され、年4回の協議会を開催、より建設的な意見をいただいております。

〈日本民家園まつり〉

11月3日（文化の日）を中心に10月と11月の2ヵ月間にわたり実施しました。

1年のうちで一番大きなイベントとして位置づけ10月は毎土曜日「古建築の意匠と技術」と題して第2回民家園講座を5回にわたって行い、74人の受講生が参加し、盛況のうちに終わりました。

11月3日は無料入園、この日は好天にも恵まれ、延べ3275人の見学者が来園され、6ページに掲載したとおりのにぎわいでした。



アー重たい（農具使用体験）



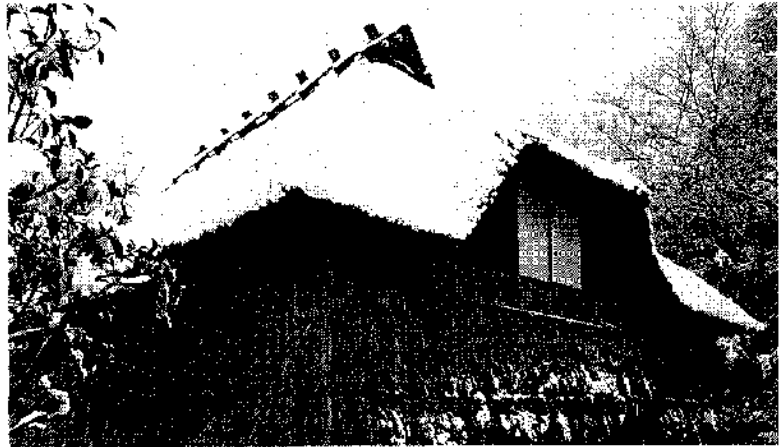
五月の空にへんぼんと



熱心に聞き入る受講生

〈古民家の雪囲いと床上公開〉

○平成5年の2月・3月、旧山田家において越中五箇山の雪囲いを実施、床上公開を毎日曜日行った。
○10月・11月の2ヵ月間、毎日曜日旧太田家及び旧三澤家において、床上公開を行った。
○12月から今年の3月まで、旧山田家と旧菅原家において雪囲いを実施、床上公開を毎日曜日行った。



雪囲いされた旧菅原家



本日床上公開中



囲炉裏でいっぶく

〈協賛・共催事業〉

○5月14日から7月30日までの毎土曜日川崎市生涯学習振興事業団と協賛で「民家－ハレとケのフォーラム」講座を開催した。

○6月25日から27日までの3日間、助文化財建造物保存技術協会との共催で集中セミナーとして「日本の建築の形と収まり」という講座を開催した。

ガイドブック 好評発売中

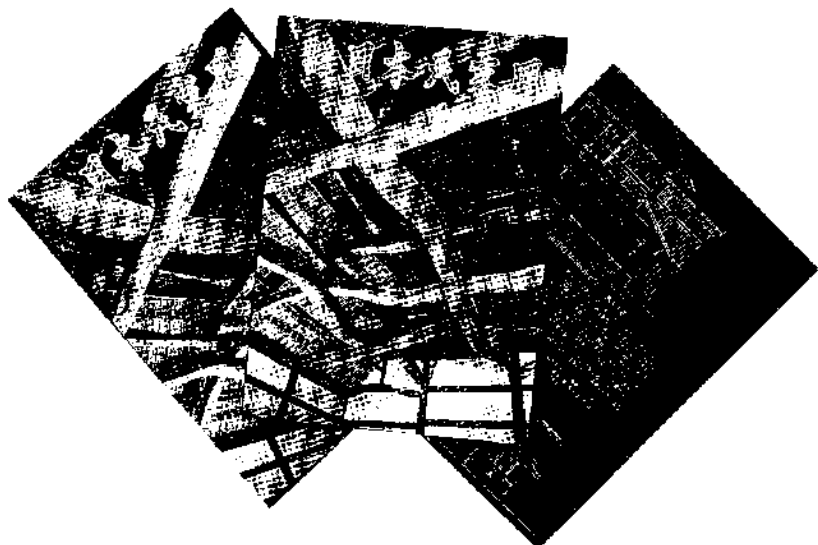
各古民家の説明や民家の基本的な知識の解説また「民家の火と水と」というように民俗学的見地からの説明等、盛り沢山の内容です。

○頒布価格 1冊1,000円

○頒布場所

日本民家園受付

*郵送による頒布はして
おりません。



講座

「春の民家園講座」

6月11日～7月9日

6月11日・18日・25日

7月2日・9日〔5日間〕

(各土曜日 14:00～16:00)

テーマ:「すまい 暮らしの中の民家」

場所:日本民家園旧作田家住宅

受講料:5000円(教材費2000円を含む)

募集定員:70名(定員を越えた場合は抽選)

申込方法:往復はがき(5月10日～5月21日必着)

協力:日本民俗建築学会

日本民俗建築学会会員の 民家写真展

期間:4月29日～6月12日(日)

場所:日本民家園本館「休憩室ロビー」

「秋の民家園講座」

10月1日～29日

日本建築史の権威者を迎え、日本の建築民家
の特質を学習する

開催日時:10月1日・8日・15日・22日・29日

(各土曜日 13:30～15:30)〔5日間〕

場所:日本民家園旧作田家住宅

受講料:5000円(教材費2000円を含む)

募集定員:70名(定員を越えた場合は抽選)

申込方法:往復はがき(8月10日～8月31日必着)

舞台公演

「民俗芸能公演会」

11月3日(文化の日)

内容:移築した舞台上で伝統的な民俗芸
能を公演する

開催日時:11月3日(木)13時～15時

〈雨天11月6日(日)に延期〉

開催場所:日本民家園 旧船越の歌舞伎舞台

観覧方法:無料公開

平成 日本民家園

—みんなで参加—

体験学習

わら細工「アシナカ草履」作り

5月1日～29日

内容:農山漁村で履かれていた労働用の
履物作り

開催日時:5月1日・8日・15日・22日・29日

(各日曜日 10時～15時)〔5日間〕

受講料:各日500円(教材費200円を含む)

募集定員:各日30名(申込み順)

申込受付:4月15日(金)電話にて9時より

協力:民具製作技術保存会(わら細工グループ)

竹細工「六ツ目簀」作り

6月12日・26日

内容:篠竹を使って、カゴ作りを体験する

開催日時:6月12日・26日〔2日間〕

(各日曜日10時～15時)

受講料:各日800円(教材費500円を含む)

募集定員:各日30名(申込み順)

申込受付:5月17日(火)電話にて9時より

協力:民具製作技術保存会(竹細工グループ)

わら細工「ぞうり」作り

7月10日～31日

内容:古くから広く着用されていた履物作り

開催日時:7月10日・17日・24日・31日

(各日曜日10時～15時)〔4日間〕

受講料:各日500円(教材費200円を含む)

募集定員:各日30名(申込み順)

申込受付:6月15日(水)電話にて9時より

協力:民具製作技術保存会(わら細工グループ)

竹細工「花器」作り

8月7日・21日

内容:一輪差し等の作り方を学習する

開催日時:8月7日・21日〔2日間〕

(各日曜日 10時～15時)

受講料:各日800円(教材費500円を含む)

募集定員:各日30名(申込み順)

申込受付:7月15日(金)電話にて9時より

協力:民具製作技術保存会(竹細工グループ)

年度の諸行事

してくださいー

わら細工「わらじ」作り

9月4日～18日

内容：山仕事や長旅用のワラジ作りを学習する

開催日時：9月4日・11日・18日

（各日曜日10時～15時）〔3日間〕

受講料：各日500円（教材費200円を含む）

募集定員：各日30名（申込み順）

申込受付：8月16日（火）電話にて9時より

協力：民具製作技術保存会（わら細工グループ）

草木染めとはた織り

内容：染色からはた織りまでの工程を学習する

開催日時：10月2日・9日・16日・23日

（各日曜日10時～15時）〔4日間〕

受講料：2000円（教材費1500円を含む）

募集定員：20名（定員を越えた場合は抽選）

（3日間以上参加できる人）

申込方法：往復はがき（9月1日～17日必着）

協力：民具製作技術保存会（はた織りグループ）

紙すき「和紙」作り

10月2日～23日

内容：原料のコウゾを用いてハガキとシオリを作る

開催日時：10月2日・9日・16日・23日

（各日曜日10時～15時）〔4日間〕

受講料：2000円（教材費1500円を含む）

募集定員：20名（定員を越えた場合は抽選）

（3日間以上参加できる人）

申込方法：往復はがき（9月1日～17日必着）

協力：神奈川紙すき研究会

伝統農具の使用体験

11月13日・20日

内容：稲の脱穀調整作業を伝統農具で体験する

開催日時：11月13日（日）・20日（日）

（各日曜日10時～15時）〔2日間〕

受講料：各日500円（教材費200円を含む）

募集定員：各日20名（定員を越えた場合は抽選）

申込方法：往復はがき（10月17日必着）

協力：民具製作技術保存会（わら細工グループ）

わら細工「しめ縄」作り

12月4日・11日

内容：正月のしめ縄、輪飾り等の作り方を学習する

開催日時：12月4日（日）・11日（日）

（各日曜日10時～15時）〔2日間〕

受講料：各日500円（教材費200円を含む）

募集定員：各日30名（定員を越えた場合は抽選）

申込方法：往復はがき（11月1日～17日必着）

協力：民具製作技術保存会

（わら細工グループ）

小正月のモノ作り

1月15日

内容：小正月のマユ団子やケズリカケ作りを体験する

開催日時：1月15日（日）10時～14時

受講料：800円（教材費500円を含む）

募集定員：30名（定員を越えた場合は抽選）

申込方法：往復はがき（12月1日～17日必着）

協力：民具製作技術保存会

（はた織りグループ）

（竹細工グループ）

床上公開

10月～3月

「日本民家園まつり」期間中

10月～11月（土曜日・日曜日）三澤家・工藤家

「雪囲い展示」期間中

12月～3月（日曜日）山田家・菅原家

協力：民具製作技術保存会・炬燵たの会

体験学習・講座の申込先

214 川崎市多摩区梶形7-1-1

川崎市立日本民家園 044(922)2181

（午前9時～午後5時）

*各行事内容は、都合により一部変更となる場合がありますので、ご了承ください。

※体験学習の参加対象者は小学校高学年以上です。

第12回日本民家園まつり

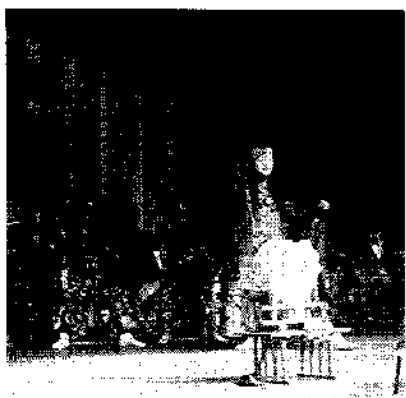
舞台公演フォトグラフ



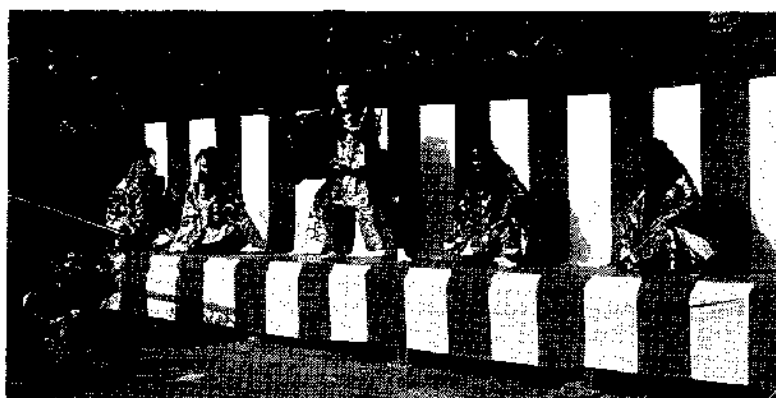
大盛況



華やかな沖縄の舞い



「紅葉狩」風景



江戸の里神楽(花道にて)



人気のあった「谷茶前」の舞い



廻り舞台の奈落風景

博物館実習生

名簿

平成5年度、日本民家園には16大学36名の博物館実習生が学んでいきました。

実習日誌雑感

1日目は、期待と不安でいっぱい、驚いたことには、私の他に、他の大学の実習仲間が多くいたこと、それも女性が多かったことでした。最初の午前中は、いきなり縄ない作業の実習。見ることに、やることとは大違い。悪戦苦闘の末、何とか形になって喜ぶのも束の間、午後からはその作業を、小学生の団体に指導するというスケジュール。思ってもみなかったことの連続で心は動揺、しかし小学生の一生懸命な行動や仕上がりの出来・不出来による嬉しそうな顔、悲しそうな顔に引き込まれ、心配は吹き飛んでしまった。これからの実習に少し自信がついたようだ。

舞台公演で幕引きを担当することになったが頭ではわかっている、あの大きな幕を落ちて引くということは、なかなかの大仕事であった。実体験の大切さを、十分に味わいました。

受付けの手伝い、お釣りを間違えたりしないように気を付けていても、一度に大勢の見学者が来しまうとパニック、お客さんにむしろ指摘されてしまいました。でも後半は慣れて仕事が早くなりました。外人さんが英語で質問をしてくるのですが、職員の方に頼ってしまいました。私自身も話せたらいいかと、つくづく感じました。

民家の構造というものには規模が大きすぎて、それを把握することは難しい。そこで園内の主要なものだけでもいいから、民家の組立て式の模型を販売することができないだろうか。

床上公開の旧太田家で火の番をしながら、はた織りや糸つむぎの指導を受けたことも印象に残りました。今日で実習が終わってしまうことが不思議に思えるほど、日本民家園に親しんだ感じです。機会がありましたら軍手をもってお手伝いにきます。

(7月29日～11月7日)



実習生の床上公開風景

春の日本民家園講座

「すまいー暮らしの中の民家」

平成6年から年に2回、講座を開催いたします。春の日程は次のとおりです。

今回は、大テーマとして「すまいー暮らしの中の民家」と題し、各講座には、著名な講師をお招きしております。

○申込み方法 往復はがき

○申込み期日と締切 5月10日(火)～21日(土)必着

○定員 70名

○受講料 5,000円(内教材費 2,000円含む)

○開催時間 午後2時～4時

○開催場所 日本民家園内旧作田家住宅

月/日	曜日	テーマと講師
6/11	(土)	民家と雪 学習院女子短期大学助教授 乾 尚彦
6/18	(土)	民家と温熱・風環境 法政大学工学部建築学科講師 古川 修文
6/25	(土)	民家と台所 千葉大学講師 宮崎 玲子
7/ 2	(土)	民家と職人 白梅学園短期大学講師 小林 梅次
7/ 9	(土)	民家遍歴ー北海道から沖縄までー 日本民族建築学会理事長 小林 昌人

民具製作技術保存会

ー役員新体制案決まるー

会 長 横山 真一(兼 研究グループ代表)
副会長 佐藤 好美(兼 機織グループ代表)
理 事 松島 志延(兼 機織グループ副代表)
会 計 砂川 康子(兼 機織グループ会計)
わら細工グループ代表 坂大 一三
副代表 横山 照子
会 計 山口 幸子
竹細工グループ代表 青山 金六
副代表 松島 忠久
会 計 筒井 妙子



活躍する民技会会員

編集後記 2月12日(土)に降った大雪は思わぬ光景を描き出しました。雪化粧をした古民家の姿は、また格別のものがあったと思います。翌日の日曜日には大勢の写真愛好家でにぎわいました。

今回の民家園だよりには、新年度の体験学習行事の日程等も掲載しました。是非、日本民家園で体験に基づく生きた学習をしていただきたいと思っております。(S、N)



水車小屋も雪化粧